

葛川小中学校だより

葛川小・中学校 学校だより 令和4年 5月号

在籍児童・生徒数 42名 5月30日発行

～様々な体験を通して～



子どもたちは5月に入り、教室を飛び出して、いろいろな体験活動をしました。新緑あふれる今の季節感を肌で感じながら、北山友禅菊(全中学生)やサツマイモの苗植え(小1・2・つくし)、田植え(小5)をしました。久多の常本様、寿会のみなさま、用務員の朝田さん、準備から当日の運びまでご協力ありがとうございました。子どもたちは土にまみれながら、いい目をしていました!これだけ貴重な体験ができるとはうらやましいかぎりです。

体験活動で得られるものって何でしょうか。つい行事の消化活動になってないかな?と思いつかですが、得られたものは実際に手にしたり目でできるものではありません。体験活動を通して、我慢すること(粘り強さや忍耐力)、周りと友達とのやりとり(思いやりや協調性)、そして自分自身の意欲みたいなものがじわじわと自分のものになるのではないでしょうか。これは、テストのように点数では現れてこないものです。このような感情は知識や技能を獲得する力の源になると子どもたちと教職員のやりとりを見て実感しました。

体育館での声楽アンサンブルの歌声を聞きながら美術の写生を中庭で取り組んでいる中学生の光景を見て、「なんて贅沢な時間なんやろ~」とおっしゃっていたある先生の言葉が印象的でした。

そして、何よりも一つの体験活動をするために、どれだけの準備をされているのか、その労力と熱量に頭が下がります。

5/17サツマイモの苗植え



4/25 北山友禅菊の苗植え
5/12 小5年田植え



「ほんまもん」というプロの技と姿を見聞きすることも貴重な体験です。初めてのお客さんに対して、しっかりあいさつができ、質問に答えたり、逆に質問したりと交流を深めることができました。5月9日(月)は関西演芸協会より漫才と落語のワークショップ(説明と体験)が、11日(水)にはびわ湖ホールより声楽アンサンブルの方々が小学校に来校されました。



小学校1年生を迎える会 4/28

小学1年生は、6名の仲間が入学しました。1年に、楽しい思い出を作ってもらおうと2年生から6年生が心を込めて準備してきました。当日は、1年生にマスクケースとメダル、しおりがプレゼントされました。



PTA

PTA 主催の歓送迎会が4月29日(金)に開催されました。児童生徒、卒業生、保護者、教職員と一緒にこのような会を持てるのも葛川小中学校ならではのことです。年度初めの忙しい時期にもかかわらず、多くの参加者で、4月からの新転地での生活や葛川での発見など大いに盛り上りました。久しぶりに話ができる場面があり、有意義なひとときを過ごしました。



小中合同体育（リレー）

小中合同体育ではバトンパスを含めたリレーの練習を行いました。小1から中3までの児童生徒が、チーム一丸となって競争するシーンは見応えがありました。小学生を指導する中学生の自主性も育っているように感じました。



避難訓練 5/12

土砂災害を想定して、小・中学校で避難訓練を行いました。大雨や台風など災害発生時に、どのように児童生徒の命を守るか、教職員の訓練もあります。子どもたちは、しっかり避難行動ができました。



3,4年生では、社会科と総合的な学習で校区めぐりをしています。坊村、町居等にあるいろいろな施設をたずね、インタビューをさせていただきました。お茶のおもてなしをさせていただきました。



玄関の花もきれいに植えかえができました。水やり当番さんありがとう！



町探検 5/2, 6